

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
平川市	平賀⑧ (東部地区)	令和2年9月	令和4年11月

## 1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	482.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	356.4ha
i うち50才以上で後継者が決まっている農業者の農地の合計	56.6ha
ii うち50才以上で後継者が未定の農業者の農地面積の合計	222.9ha
iii うち50才未満の農業者の農地面積	76.9ha
③地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.6ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・農地の出し手となる人はいるものの、後継者がほとんどおらず、受け手の人がいない。</li><li>・稲作と異なり市場価格が安定しておらず、露地野菜は経営面積拡大のリスクが高い。</li><li>・地域ごとに水源を管理しているため、地域以外の人には水を使えないなどの問題がある。</li><li>・野菜に関する交付金がなく、補助事業を活用したくても採択ポイントも高く、機械の取得が難しい。</li></ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"><li>・若手農業者を中心として法人化を目指す。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地区内をブロック分けし、集積モデル的に担い手に集約していく。</li></ul>

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<ul style="list-style-type: none"><li>・地区内での各地域の交流を図り、若手農業者が生産法人を立ち上げるために、バックアップする。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域集積協力金を活用し、集積する。</li></ul>